
敦賀発電所2号炉

敷地の地形，地質・地質構造について

補足説明資料5

令和3年4月15日提出の資料からの修正箇所

令和3年5月19日

日本原子力発電株式会社

K断層の連続性評価について

第833回審査会合
資料1 修正

H27-B-1孔で確認された破砕部

- H27-B-1孔で確認された破砕部について、薄片観察による断層岩区分を実施した。
- 薄片観察の結果、肉眼観察に基づく評価から見直した箇所は、深度34.54-34.59mの非モデル化破砕部、深度44.53-44.83mの非モデル化破砕部、深度45.36-45.39mの非モデル化破砕部、深度52.72-52.81mの非モデル化破砕部、深度75.57-76.00mの非モデル化破砕部及び深度139.82-139.88mのD-42破砕帯であり、カタクレーサイトのみからなる破砕部と判断した。次頁以降に薄片観察結果を示す。
- 今回、追加した文献も踏まえて実施した薄片観察により従前の薄片観察に基づく評価から見直した箇所は、深度69.70-69.73mの非モデル化破砕部、深度74.36-74.50mの非モデル化破砕部及び深度113.51-113.60mの非モデル化破砕部である。次頁以降に薄片観察結果を示す。
- また、追加した文献も踏まえて実施した薄片観察により従前の薄片観察に基づく評価から断層ガウジの範囲を見直した箇所は、深度42.41-42.49mの非モデル化破砕部である。次頁以降に薄片観察結果を示す。
- H27-B-1孔には、K断層に類似するような、断層ガウジを伴う逆断層センス卓越の破砕部は認められない。

H27-B-1孔で確認された破砕部

対比する ボーリング孔	破砕帯範囲		走向	傾斜	性状				破砕帯名
	上端深度	下端深度			断層ガウジ・ 断層角礫 の有無	明瞭な せん断構造・ 変形構造 の有無	条線方向	変位センス N：正断層 RL：右横ずれ R：逆断層 LL：左横ずれ	
	(m)	(m)							
H27-B-1	34.54	34.59	N25E	46W	無	-	30L	R,LL	非モデル化
H27-B-1	42.41	42.49	N65W	36NE	有 ※	無	45L	N,RL	非モデル化
H27-B-1	44.24	44.53	N1E	89W	有	無	0	LL	非モデル化
H27-B-1	44.53	44.83	NS	66E	無	-	30L	R,LL	非モデル化
H27-B-1	45.36	45.39	N43E	70SE	無	-	40L	N,RL	非モデル化
H27-B-1	46.12	46.17	N14E	79W	有	無	22L	-	非モデル化
H27-B-1	47.40	47.51	N21E	84E	有	無	70R	N	非モデル化
H27-B-1	49.17	49.22	N47E	45W	有	無	30L	N,RL	非モデル化
H27-B-1	52.72	52.81	N15E	82E	無	-	10R	LL	非モデル化
H27-B-1	53.17	53.22	N27E	64W	有	無	90	N	非モデル化
H27-B-1	59.82	59.85	N26E	80W	有	有	80R	N	D-1
H27-B-1	69.70	69.73	N25E	82E	無	-	20L	RL	非モデル化
H27-B-1	74.36	74.50	N15E	85W	無	-	70L	N	非モデル化
H27-B-1	75.57	76.00	N34E	87NW	無	-	90	R	非モデル化
H27-B-1	78.72	78.87	N17E	71E	有	無	30L	N,RL	非モデル化
H27-B-1	85.38	85.41	N28E	86E	有	有	90	N	f-b-1-16
H27-B-1	113.51	113.60	N21E	69E	無	-	30L	N,RL	非モデル化
H27-B-1	118.94	119.12	N29E	79E	有	有	30L	N,RL	D-41
H27-B-1	139.82	139.88	N27E	88E	無	-	35L	N,RL	D-42

薄片観察結果に基づき判断した箇所

第833回審査会合までに実施した追加観察結果、データの追加
(断層岩区分においては肉眼観察に基づく評価から見直した箇所)

- : データが得られていないもの。
明瞭なせん断構造・変形構造の有無については、断層ガウジ・断層角礫を伴わないもの。

今回、追加した文献も踏まえて実施した追加観察により
従前の薄片観察に基づく評価から見直した箇所
※断層ガウジの範囲を見直した箇所

修正理由:補足説明資料4の誤記No.87の反映もれ。

修正箇所

修正後

K断層の連続性評価について

第833回審査会合
資料1 修正

H27-B-1孔で確認された破砕部

- H27-B-1孔で確認された破砕部について、薄片観察による断層岩区分を実施した。
- 薄片観察の結果、肉眼観察に基づく評価から見直した箇所は、深度34.54-34.59mの非モデル化破砕部、深度44.53-44.83mの非モデル化破砕部、深度45.36-45.39mの非モデル化破砕部、深度52.72-52.81mの非モデル化破砕部、深度75.57-76.00mの非モデル化破砕部及び深度139.82-139.88mのD-42破砕帯であり、カタクレーサイトのみからなる破砕部と判断した。次頁以降に薄片観察結果を示す。
- 今回、追加した文献も踏まえて実施した薄片観察により従前の薄片観察に基づく評価から見直した箇所は、深度69.70-69.73mの非モデル化破砕部、深度74.36-74.50mの非モデル化破砕部及び深度113.51-113.60mの非モデル化破砕部である。次頁以降に薄片観察結果を示す。
- また、追加した文献も踏まえて実施した薄片観察により従前の薄片観察に基づく評価から断層ガウジの範囲を見直した箇所は、深度42.41-42.49mの非モデル化破砕部である。次頁以降に薄片観察結果を示す。
- H27-B-1孔には、K断層に類似するような、断層ガウジを伴う逆断層センス卓越の破砕部は認められない。

H27-B-1孔で確認された破砕部

対比するボーリング孔	破砕帯範囲		走向	傾斜	性状				破砕帯名
	上端深度	下端深度			断層ガウジ・断層角礫の有無	明瞭なせん断構造・変形構造の有無	条線方向	変位センス N:正断層 RL:右横ずれ R:逆断層 LL:左横ずれ	
	(m)	(m)							
H27-B-1	34.54	34.59	N25E	46W	無	-	30L	R,LL	非モデル化
H27-B-1	42.41	42.49	N65W	36NE	有 ※	無	45L	N,RL	非モデル化
H27-B-1	44.24	44.53	N1E	89W	有	無	0	LL	非モデル化
H27-B-1	44.53	44.83	NS	66E	無	-	30L	R,LL	非モデル化
H27-B-1	45.36	45.39	N43E	70SE	無	-	40L	N,RL	非モデル化
H27-B-1	46.12	46.17	N14E	79W	有	無	22L	-	非モデル化
H27-B-1	47.40	47.51	N21E	84E	有	無	70R	N	非モデル化
H27-B-1	49.17	49.22	N47E	45W	有	無	30L	N,RL	非モデル化
H27-B-1	52.72	52.81	N15E	82E	無	-	10R	LL	非モデル化
H27-B-1	53.17	53.22	N27E	64W	有	無	90	N	非モデル化
H27-B-1	59.82	59.85	N20E	75W	有	有	80R	N	D-1
H27-B-1	69.70	69.73	N25E	82E	無	-	20L	RL	非モデル化
H27-B-1	74.36	74.50	N15E	85W	無	-	70L	N	非モデル化
H27-B-1	75.57	76.00	N34E	87NW	無	-	90	R	非モデル化
H27-B-1	78.72	78.87	N17E	71E	有	無	30L	N,RL	非モデル化
H27-B-1	85.38	85.41	N28E	86E	有	有	90	N	f-b-1-16
H27-B-1	113.51	113.60	N21E	69E	無	-	30L	N,RL	非モデル化
H27-B-1	118.94	119.12	N29E	79E	有	有	30L	N,RL	D-41
H27-B-1	139.82	139.88	N27E	88E	無	-	35L	N,RL	D-42

修正箇所: 薄片観察結果に基づき判断した箇所

修正箇所: 第833回審査会合までに実施した追加観察結果、データの追加(断層岩区分においては肉眼観察に基づく評価から見直した箇所)

- : データが得られていないもの。
明瞭なせん断構造・変形構造の有無については、断層ガウジ・断層角礫を伴わないもの。

修正箇所: 今回、追加した文献も踏まえて実施した追加観察により従前の薄片観察に基づく評価から見直した箇所
※断層ガウジの範囲を見直した箇所

余白